

社会资本総合整備計画 事後評価書

令和06年09月02日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	--	---------------

A 基幹事業

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
産業建設部にて評価を実施	令和4年度
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	長寿命化計画を策定したことにより、修繕等の対策を講じなければならない施設及び時期が明らかになり、ライフサイクルコストの縮減を図ることが可能となった。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
施設の延命化によるライフサイクルコストの縮減に努め、公園施設の修繕・更新等を実施していくことで、より安全・安心して利用できる公園とする。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	50百万円	当初の想定に縮減効果が及ばなかったが、修繕等の対策を講じなければならない施設及び時期が明らかになり、ライフサイクルコストの縮減を図ることが可能となったため、計画的に修繕等を実施する。
	最終実績値	2百万円	